

# 日本家庭科教育学会 2018（平成 30）年度例会

日本家庭科教育学会  
会長 荒井 紀子

日本家庭科教育学会 2018 年度の例会を下記の要領で開催いたします。  
会員の皆様、どうぞ多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

日時：2018 年 12 月 9 日（日） 13：00～16：50（受付は 12：30 から）

場所：東京学芸大学（〒184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1）

\*JR 中央線武蔵小金井駅北口 京王バス 5 番乗り場「小平団地」行き約 10 分  
「学芸大正門」下車

\*JR 中央線国分寺駅北口 徒歩約 20 分

## タイムスケジュール

受付	12：30～	講義棟 S 棟 4 階ホール
研究発表	13：00～14：40	4 階 S402, S403, S404, S405, S407, S410
シンポジウム	14：50～16：50	4 階 S410

理事会 9：45～11：00（講義棟 S 棟 4 階 S406）

地区会代表者会議 11：15～12：15（講義棟 S 棟 4 階 S406）

- ★研究発表および課題研究最終報告会の発表者でパワーポイントご使用の方は、12：10 から 12：30 までの間に各会場にてデータのインストールを行ってください。
- ★口頭発表の時間は 15 分、質疑応答の時間は 5 分です。
- ★口頭発表のための資料は、パワーポイントおよび印刷物とします。
- ★配付資料は、発表番号と氏名を明記し、100部用意し、発表直前に会場係りにお渡しください。会場係りが参加者に配布します。余った資料は会場内の資料置き場に置いておきます。
- ★業者展示は、S 棟4階S401講義室において12:30～17:00の間に行われます。

参加費：正会員 1,800 円 学生会員 1,000 円  
非会員 2,000 円 学生非会員 1,500 円

上記に関する問い合わせ先： 日本家庭科教育学会事務局  
〒112-0012 文京区大塚 4-39-11 仲町 YT ビル 3 階  
Tel & Fax 03-3942-7885  
E-mail kateika@amethyst.broba.cc

## I. 研究発表 (13:00~14:20)

### 第1会場 (S404)

座長 角間 陽子 (福島大学)

- |     |                                 |                                       |               |
|-----|---------------------------------|---------------------------------------|---------------|
| 1-1 | 家庭科教科書における「防災・災害」の「食」教育に関する記述分析 | 兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究所 (院生)<br>兵庫教育大学大学院 | ○小林裕子<br>永田智子 |
| 1-2 | 災害を意識した中学生の野外炊事実践授業の効果測定と考察     | 東京学芸大学附属世田谷中学校                        | ○桑原智美         |

座長 堀江 さおり (秋田大学)

- |     |  |  |                       |
|-----|--|--|-----------------------|
| 1-3 | 「自分でランチプロジェクト」 - 知的障害特別支援学校高等部家庭科の取組 -                 | 高知大学教育学部附属特別支援学校<br>高知大学教育学部附属特別支援学校<br>高知大学教育学部 | ○安岡知美<br>片山裕吾<br>小島郷子 |
| 1-4 | 家庭科「食」学習への意欲をより高める弁当調理の実践報告 - 特別支援学校高等部の作業宿泊の体験を生かして - | 高知大学教育学部附属特別支援学校<br>高知大学教育学部附属特別支援学校<br>高知大学教育学部 | ○片山裕吾<br>安岡知美<br>小島郷子 |
| 1-5 | 小学校家庭科における学校給食の献立作り - 栄養士と連携した取り組みに基づく考察 -             | 帝京平成大学現代ライフ学部児童学科                                | ○植田真理子                |

## 第2会場 (S405)

座長 飯野 由香利 (新潟大学)

- |     |   |   |  |
|-----|---|---|--|
| 2-1 | レッスン・スタディによる生活者育成のための探究型授業の開発 - 消費生活に視点をあてて - | 東京都私立麹町学園女子中学校高等学校<br>大阪体育大学教育学部<br>福岡教育大学教育学部<br>大阪教育大学教育学部<br>女子栄養大学栄養学部<br>島根大学教育学部(客員研究員)<br>愛国学園短期大学<br>名古屋文化短期大学                    | ○神澤志乃<br>荒井紀子<br>貴志倫子<br>鈴木真由子<br>井元りえ<br>一色玲子<br>亀井佑子<br>羽根裕子                             |
| 2-2 | ロールプレイングを導入した知識構成型ジグソー法の高校家庭科授業の開発            | 茨城大学教育学部<br>帝京科学大学 (非)<br>都留文科大学 (非)<br>麹町学園女子中学校高等学校<br>静岡大学<br>東京未来大学<br>川村学園女子大学<br>中央大学附属中学校高等学校<br>愛国学園短期大学<br>奈良教育大学<br>埼玉県立越谷西高等学校 | ○野中美津枝<br>坪内恭子<br>石引公美<br>神澤志乃<br>小清水貴子<br>小林久美<br>齋藤美重子<br>齋藤和可子<br>新山みつ枝<br>村上睦美<br>吉野淳子 |

座長 若月 温美 (千葉県東葉高等学校)

- |     |  |                          |               |
|-----|--|--------------------------|---------------|
| 2-3 | 住生活の授業の事例研究 - ジグソー法で主体的、対話的に学ぶ住生活の授業 - | 浦和大学こども学部<br>さいたま市初任者指導員 | ○伊深祥子<br>金子京子 |
|-----|--|--------------------------|---------------|

		静岡大学大学院教育学 領域	小川裕子
		新潟大学教育学部	飯野由香利
2-4	10分の1住宅組立模型を用いた 住生活授業におけるアクティブ・ ラーニングによる教育指針の提 示	新潟大学教育学部 長岡造形大学	○飯野由香利 広川智子
2-5	高校生の防災に関する意識・備え と防災教育の現状	山形大学地域教育文化 学部	○石垣和恵

### 第3会場 (S407)

座長 伊波 富久美 (宮崎大学)

3-1	高等学校家庭科教科書の衣生活 領域における実験・実習に関する 分析	鳴門教育大学大学院学 校教育研究科 (院生) 鳴門教育大学大学院学 校教育研究科 鳴門教育大学大学院学 校教育研究科	○福井ともこ 速水多佳子 福井典代
3-2	自立して生活する力を育てる授 業 - ミシンの不具合を調整する ICT を活用した問題解決的な学習を 通して -	青森県十和田市立十和 田中学校	○西田寛子

座長 鈴木 真由子 (大阪教育大学)

3-3	高等学校家庭科における家事の 省力化を目指した学習内容の提	精華女子短期大学	○渡邊智美
-----	----------------------------------	----------	-------

案

- 保温鍋を使用した加熱調理 -

- |     |                            |            |        |
|-----|----------------------------|------------|--------|
| 3-4 | 理系女子高校生のライフデザイン学習の有用性      | 東京都立戸山高等学校 | ○荒井きよみ |
| 3-5 | 降雪地域における生活時間調査から見た小学生の生活実態 | 弘前大学教育学部   | ○小野恭子  |

#### 第4会場 (S403)

座長 西原 直枝 (聖心女子大学)

- |     |   |   |                                |
|-----|---|---|--------------------------------|
| 4-1 | 家庭科に関する研修をめぐる事例検討と課題  | 愛知教育大学教育学部<br>山梨大学大学院総合研究部教育学域<br>青森県立青森西高等学校<br>弘前大学教育学部 | ○青木香保里<br>志村結美<br>木村紀子<br>日景弥生 |
| 4-2 | 小学校教員養成課程における家庭科衣生活の指導内容の検討<br>- 絵本教材と学習支援システム Moodle 活用の提案 - | 大分大学教育学部  | ○都甲由紀子                         |

座長 福井 典代 (鳴門教育大学)

- |     |   |  |                      |
|-----|---|--|----------------------|
| 4-3 | 小学校家庭科の課題解決能力を育む指導の実態と課題 - 質問紙調査による食生活領域の課題 - | 佐賀大学教育学部<br>広島大学大学院教育学研究科<br>佐賀大学大学院学校教育学研究科 | ○萱島知子<br>鈴木明子<br>岡陽子 |
|-----|---|--|----------------------|

4-4	中学校家庭科における学習意欲を高める授業の検討	山梨大学大学院 山梨大学大学院教育学研究科（院生）	志村結美 ○渡邊綾馨
4-5	NHK for School「カテイカ」とTPCを活用するA L型小学校家庭科授業モデルの開発 - 小学校教員による評価 -	兵庫教育大学大学院 兵庫県立北はりま特別支援学校 兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科（院生） 兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科（院生） 兵庫県立兵庫高等学校	○永田智子 鈴木千春 村田晋太郎 小林裕子 山本亜美

## 第5会場 (S402)

座長 横山 真智子（岐阜県各務原市立桜丘中学校）

5-1	中高生の高齢者理解と学習・経験との関連	東京学芸大学大学院教育学研究科（院生） 東京学芸大学教育学部	○二橋拓哉 倉持清美
5-2	家族・家庭生活の学習による能力の育成 - 生活場面で実践できる力の実態と課題 -	三重県津市立西橋内中学校 三重大学教育学部 静岡大学教育学部 常葉大学教育学部 椋山女学園大学教育学部 三重県伊賀市立玉滝小学校 元静岡大学教育学部	○吉岡良江 吉本敏子 小川裕子 星野洋美 室雅子 安場規子 吉原崇恵

座長 正保 正恵 (福山市立大学)

- |                  |  |                 |       |
|------------------|--|-----------------|-------|
| 5-3              | 食生活の学習による能力 - 生活<br>場面で実践できる力の実態と課<br>題 -        | 常葉大学教育学部        | ○星野洋美 |
|                  |  | 三重大学教育学部        | 吉本敏子  |
| 5-4              | 消費生活と環境の学習による能<br>力の育成 - 生活場面で実践でき<br>る力の実態と課題 - | 静岡大学教育学部        | 小川裕子  |
|                  |  | 椋山女学園大学教育学<br>部 | 室雅子   |
|                  |  | 津市立西橋内中学校       | 吉岡良江  |
|                  |  | 伊賀市立玉滝小学校       | 安場規子  |
|                  |  | 元静岡大学教育学部       | 吉原崇恵  |
|                  |  | 三重大学教育学部        | ○吉本敏子 |
| 静岡大学教育学部         | 小川裕子   |                 |       |
| 常葉大学教育学部         | 星野洋美   |                 |       |
| 椋山女学園大学教育部       | 室雅子  |                 |       |
| 三重県伊賀市立玉滝小<br>学校 | 安場規子   |                 |       |
| 三重県津市立西橋内中<br>学校 | 吉岡良江   |                 |       |
| 静岡大学教育学部(元)      | 吉原崇恵   |                 |       |

## 第6会場 (S410)

座長 西 敦子 (山口大学教育学部)

- |     |   |                           |       |
|-----|---|---------------------------|-------|
| 6-1 | アメリカの家庭科教育における<br>「21世紀型スキル」の育成 - 「学<br>校家庭クラブ活動とのつながり」<br>を中心に - | 東京学芸大学                    | ○渡瀬典子 |
| 6-2 | 中国でのジェンダー教育の将来<br>性<br>- 日中大学生のジェンダー意識<br>調査から -                  | 鹿児島大学大学院人文<br>社会科学研究科(院生) | ○趙凱月  |

## II. シンポジウム「家庭科で育成する生活リテラシーとは」

(14:50～16:50) S 4 1 0 講義室

コーディネーター	堀内かおる氏 (横浜国立大学)
シンポジスト	野中美津枝氏 (茨城大学・家庭科未来プロジェクトメンバー)
	仲田郁子氏 (千葉県立流山おおたかの森高等学校)
	門澤裕美氏 (宇都宮大学教育学部附属中学校)
	岡部雅子氏 (お茶の水女子大学附属小学校)

趣旨：

家庭科では生活に関わる知識や技術等の習得をひとつの目標としている。日本家庭科教育学会特別研究委員会「家庭科未来プロジェクト」の調査では、よりよい生活を営むために必要な自立、共生、消費、環境に関わる生活実践・活用能力を“生活リテラシー”と捉えて、分析・考察を行い、既に報告論文が学会誌第 61 巻 1 号～3 号に掲載されている。なお、“生活リテラシー”については、学会レベルでの公的な討議は行われていない。

そこで、この例会では、「家庭科未来プロジェクト」が捉えた生活リテラシーとはどのようなものかについて報告頂くとともに、小・中・高等学校の実践報告も交え、参会者の皆さんとともに考える場にしたい。





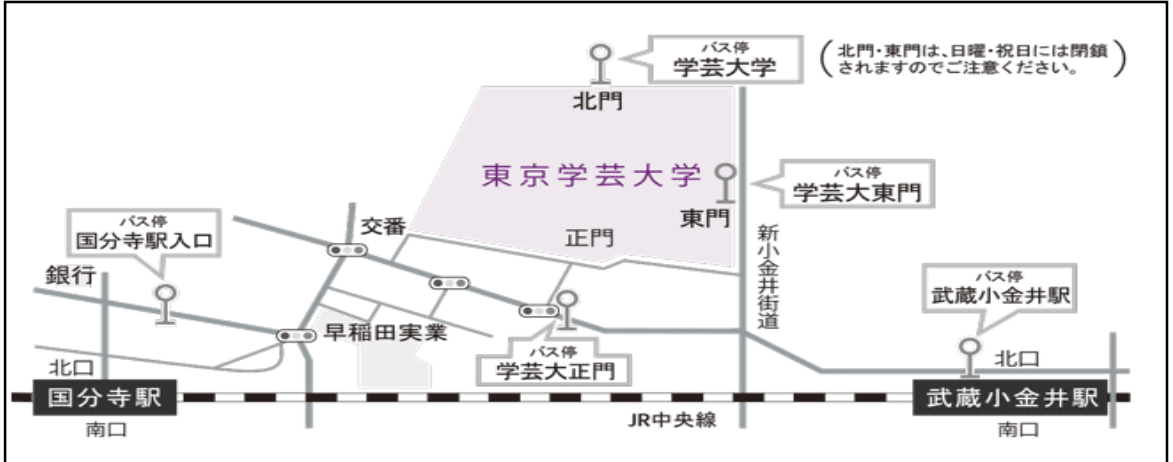
## 【会場（東京学芸大学）へのアクセス】

JR 中央線 武蔵小金井駅北口

【京王バス】〔5番バス停〕「小平団地」行に乗車、約10分。「学芸大正門」下車

JR 中央線 国分寺駅北口

【徒歩】約20分(JR 国分寺駅北口→早稲田実業学校→連雀通り／小金井市保健センター前)



## 最寄り駅までのアクセス

